

8月17日掲載

## 「背景を探る」

「健康、愛、家族、仕事、趣味、お金のうち、大切な順に順番をつけて理由を述べてください」。

先日、大学の授業でこんなディスカッションをした。実際に就職面接で同様のテーマが出題されている。正解はないが、学生たちは理由を考えることに悩んでいた。また同じ項目を1位に選んでも、他者の理由を聴いて自分との考えの違いや新しい視点に驚いていたようだった。人にはそれぞれ価値観や背景がある。

この春から講師としての表現力を磨こうと、札幌市内の劇団の演劇講座に通っている。先月末はその発表会があり、30分の二人芝居に励んだ。久しぶりの演劇発表に緊張し、動きながら長時間のせりふをしゃべることに苦戦したが、なんとか無事に終えることができた。この講座で学んだのは、「文章の背景を探る」こと。ただせりふを暗記してしゃべるのではなく、なぜ台本のこの場所に間があるのか、登場人物がこの発言をしているのか…背景を探るとおのずと動きや口調も変わってくる。新しいことが見えてきて演劇の奥深さを感じる。

小説も背景がしっかり描かれていると、目の前にイメージがわく。講師業も、分からない用語を調べたり、なぜここでワークショップ（体験型講座）を入れたりするのかなど、意図や背景を明確にしていないと相手に伝わらない。

どんな背景や理由があってもいい。自分が伝えたいことは何かを整理し、気持ちを伝えていくことが大切だと感じた今日このごろである。

(毎日新聞)